

ひ お ま

2010.

8

vol.64

HIOKI-City <http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

主な記事

日置市教育基本計画を策定	2
ストップ滞納！	4
共生・協働の地域づくり	5
国勢調査を実施します	6
市内小学校水泳記録会	7
まちの話題	8
市民の広場	19



「日置市教育基本計画」を策定

自然や伝統文化を生かす

本市は、日本三大砂丘の一つ「吹上浜」や優れた泉質を誇る温泉などの豊かな自然、「妙円寺詣り」「せつぺとべ」に代表される伝統行事、四百年の歴史を誇る「薩摩焼」や「日置瓦」などの伝統産業、地域に根ざした主要産業である農林水産業などの資源や、多種多様な分野で活躍している人材などの教育的資源が豊富です。

また地域全体で子どもたちを育てるといった伝統的な地域の教育力も残っています。

これまで、これらの教育的資源を活用しながら「夢をもちあしたをひらく 心豊かな人づくり」を基本目標として、生涯学習の観点に立ち、主体性・創造性・国際性を備え、人間性豊かな市民の育成を目指して取り組んできました。

改正教育基本法第一条に規定された教育の目的は「教育は人格の完成を目指し、平和で民主的な国家および社会の形成者と

して必要な資質を備えた、心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない」となっており、今後は将来の社会を担う人材育成に重点を置き、取り組む必要があります。

また自律心と責任感、他人を思いやる心、公共の精神、規範意識、伝統や文化を尊重する心、生命や自然を大切にすることなどの豊かな心をもった人材の育成や、変化の激しい社会の中で、新しい課題に積極果敢に挑戦する気概や困難を乗り越えることのできる力をもった人材の育成も必要です。

このようなことから、今後の本市の十年後の姿を見据えた基本目標を「夢をもち あしたをひらく心豊かな人づくり」として「日置市教育振興計画」を策定し、施策の推進を図ります。

なお「日置市教育基本計画」は、市ホームページでもご覧いただけます。



▲伝統行事「せつぺとべ」

【教育基本法】

(教育振興基本計画)

第十七条 政府は、教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、教育の振興に関する施策についての基本的な方針及び講ずべき施策その他必要な事項について基本的な計画を定め、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

二 地方公共団体は、前項の計画を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならない。

郷土の教育的な伝統や風土を生か

風格ある教育

10年後を見据えた教育の姿

基本目標

「夢をもち あしたをひらく 心豊かな人づくり」

- 1 21世紀を生き抜く知恵と健康な体、豊かな心を備え、生涯にわたって意欲的に自己実現を目指す市民
- 2 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養い、主体性、創造性、国際性を備えた市民

今後5年間で取り組む施策

目指す方向

郷土の教育的な伝統や風土を生かした「風格ある教育」の推進

<p>I きまりを守り、礼節を重んじる教育の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 学校経営の充実 ② 生徒指導の充実 ③ 道徳教育の充実 ④ 進路指導の充実 ⑤ 人権教育の充実 ⑥ 環境教育の充実 	<p>II 文(芸術・学問)と武(心身の鍛練)の両立を重んじる教育の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 学力向上に向けての取組の充実 ② 特別支援教育の充実 ③ 保・幼・小・中・高連携の推進 ④ 複式・少人数教育の充実 ⑤ 特色ある芸術文化活動の充実 ⑥ 体力向上に向けての取り組みの充実 	<p>III 自然や歴史と伝統文化を重んじる教育の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 自然や歴史と伝統文化を生かした郷土教育の推進 ② 地域の文化財の保存と伝承 ③ 資料館や資料室の展示充実と利用促進
<p>IV 安全・安心を重んじる教育環境づくりの推進</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 施設設備の計画的整備 ② 施設設備の適正な維持管理 ③ 地域ぐるみでの安全・安心な環境づくり ④ 学校保健の充実 ⑤ 学校給食の適正かつ円滑な推進 ⑥ 学校給食センター運営の充実 	<p>V 協働社会によるまちづくりを重んじる生涯学習の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地域、家庭、学校と連携した社会教育の推進 ② 家庭教育の充実 ③ 青少年事業の充実とリーダーの育成 ④ 青年の社会教育活動への参加促進 ⑤ 生涯学習リーダーの養成および学習意欲の拡充 ⑥ 地区公民館の基礎づくりと中央・地区・自治公民館活動の推進 ⑦ 各種社会教育団体の組織・活動の充実 ⑧ 市民総ぐるみの読書活動の推進 ⑨ 視聴覚教育および情報教育の推進 ⑩ 自主文化事業の提供と市および各地域の文化祭の充実 	<p>VI 健康づくりを重んじる生涯スポーツの推進</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 生涯スポーツの推進による市民の健康づくり ② 日置市体育協会の育成および競技力の向上 ③ スポーツ少年団の充実 ④ 社会体育施設等の充実および利用促進

教育行政の基本方向（概念図）

「STOP 滞納！」



— 市税等の公平・公正を確保 —

市税をはじめとし、各種料金や使用料の滞納額の増加は、市の財政運営にとって非常に大きな問題であり、市民負担の公平性の確保を図るためにも、徴収率の向上・滞納額の削減には迅速かつ強力に対応していかなければなりません。

納期限を過ぎても納付がなく滞納となった場合は、各担当課から督促状、催告書により、あらためて納付をお願いします。それでも納付されない場合は、滞納となっている債権の回収を特別滞納整理課に引き継ぎ、負担の公平・公正の観点から財産の差押えや、裁判手続きなどを含めた毅然（きぜん）とした対応を行います。

◆特別滞納整理課とは◆ 滞納処分を専門とした組織です

平成 22 年 4 月に市役所に新たに発足した組織で市税、国民健康保険税、介護保険料、保育料、住宅使用料などの滞納債権回収事務を担当課から引き受け、差押え、公売（オークション等）などの強制処分を前提に滞納整理を行う部署です。

◆「^{さしおさ}差押え」って何？◆ 給与差押えにも着手

「差押え」とは、所有者から財産を処分する権利を奪うことをいいます。差押えを受けると、自らが所有する財産でありながら処分などの自由が利かなくなります。逆に、県や市など差押えを執行した機関は、財産を処分する権利を取得し、差押えた給与、または売却で得た金銭を税金や使用料などに充当できるようになります。

◆財産調査および搜索◆ 勤務先への給与調査、家宅搜索も

市ではやむを得ない理由で、一時的に税金の納付が困難な方と資力がありながら未納となっている滞納者を見極め、財産調査（預貯金、生命保険、不動産の所有状況、勤務先への給与支給状況の調査など）とそれらに対する差押えを強化しています。

また法律の規定に基づき滞納者や、その関係者の住居を相手方の意思に関係なく強制的に搜索することもできます。

事情のある方は 納税・納付相談にお越しく下さい

病気や失業、事業の経営不振など、やむを得ない理由で一時的に税金を納期限内に納付することが困難な方については、生活状況などを聞かせていただいた上で、分割納付などをすることができます。（必要に応じ財産調査を実施します。）

まずは、納税・納付相談においで下さい。

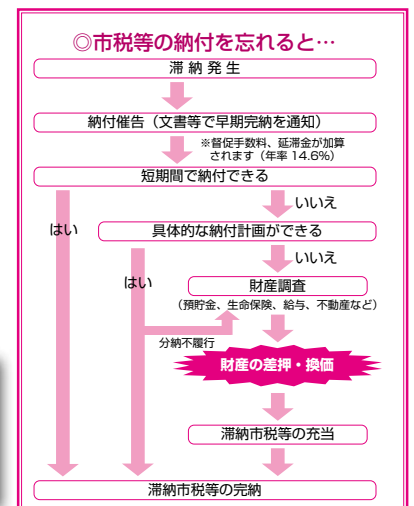


◆県・市 合同で滞納額の削減◆

市県民税や国民健康保険税などの滞納整理業務を県と日置市が協働して行うため、週 2 日の予定で県税徴収対策官（県職員）が日置市に駐在し、市職員の身分を有しながら、徴収困難事案に対する共同文書催告や、共同差押えなどの業務に当たります。



▲勤務先を訪問する職員



【お問い合わせ先】

本庁 特別滞納整理課 債権管理係（内線 1116、1170、1171）



▲自治会員がこぞって植栽作業に参加しました

四郎園自治会は、伊集院地域の南西部、下谷口川とJR鹿兒島本線の南側に位置します。中央には水田が広がる盆地状の集落に、およそ60世帯が暮らしています。

「四郎園には奉仕作業に積極的に参加する美風と全員参加を基本に『まごころ』と『ちから』を一つにして団結する伝統がある」と福永自治

協働の地域づくり 事業助成を活用して

「自治会員の『まごころ』と『ちから』を一つにして、景観・美風を維持発展させたい」と、四郎園自治会では「景観美化部」を設置し、あぜ道や堤防に花々の植栽を手掛けました。今回は、同自治会の共生・協働の実践活動を紹介します。

まごころで彼岸花の里づくり 四郎園自治会



温もりあふれる

共生・協働の地域づくり 14

会長。

自治会ではこの気風を生かして、婦人会や子ども会、新生活会(高齢部)など既存の専門部活動以外に取り組めないかと模索しました。その結果、集落の景観を維持発展させようと、新たに「景観美化部」を設置しました。

部員は全自治会員

「景観美化部」は、水田のあぜ道や下谷口川の堤防などに彼岸花などを植栽し、地域や耕作者などとの交流拠点にすることが目的です。部員は自治会員全員。昨年度の活動には、多くの部員が参加、彼岸花や桜が植え付けられました。

事業の目的を記した看板も設置され「きれいになった」「これから何をすると、周囲の関心も高まってきました。歩きたくなる自治会の道の整備に「今年の秋が楽しみ」です。

自治会では、同部の活動を継続しながら、景観づくりとともに、自治活動への参画意識をさらに高めたいと考えています。

モデルとなる事業を支援

日置市では、自治会や団体などが取り組む地域づくり活動の

協働の地域づくり事業助成 事業団体を募集しています

日置市では、市民自らが地域資源や人材を生かして取り組む、協働に役立つ公益性の高い事業に対し、その経費の一部を助成します。

対象事業：地域活性化のイベント
世代間・地域間交流
地場産品の活用開発
地域人材の養成 など
*既存の事業は除きます。

対象者：規約を持つ5人以上の団体で責任者が明確で、継続的に活動できること。

助成金額：補助率3/4以内
(助成限度10万円)

審査基準：公益性、モデル性、実現性、発展性、継続性など

申請締切：平成22年9月10日(金)

詳しくは、地域づくり課へお問い合わせください
(273-2111 内線1269)。



▲共生・協働の継続を記した手づくり看板

平成22年10月1日

国勢調査を実施します！

- 国勢調査は、日本に住んでいるすべての人および世帯が対象です。
- 平成22年国勢調査は、我が国が本格的な人口減少社会となって実施する最初の国勢調査で、日本の未来を考えるために欠くことのできない最新の人口・世帯の実態を明らかにする重要な調査です。
- 調査結果は、さまざまな法令で使われるほか、社会福祉、雇用対策、生活環境の整備など、私たちの暮らしのために役立てられます。
- 9月下旬から、調査員が世帯を訪問して調査票を配布します。
- 記入いただいた調査票は、封筒に入れて封をした上で調査員に渡していただくか、郵送で提出していただきます。



調査事項

○ 世帯員に関する事項（15事項）

- ・ 氏名
- ・ 男女の別
- ・ 出生の年月
- ・ 世帯主との続柄
- ・ 配偶の関係
- ・ 国籍
- ・ 現在の住居における居住期間
- ・ 5年前の住居の所在地
- ・ 在学、卒業等教育の状況
- ・ 就業状態
- ・ 所属の事業所の名称および事業の種類
- ・ 仕事の種類
- ・ 従業上の地位
- ・ 従業地または通学地
- ・ 従業地または通学地までの利用交通手段

○ 世帯に関する事項（5事項）

- ・ 世帯の種類
- ・ 世帯員の数
- ・ 住居の種類
- ・ 住宅の床面積
- ・ 住宅の建て方



国勢調査は、日本の未来、地域のまちづくりのための基礎資料になります！

総務省・都道府県・市区町村

国勢調査については、平成22年国勢調査広報サイト「国勢調査 e-ガイド」をご覧ください。
<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/kouhou/index.htm>

お問い合わせ先：本庁 企画課広報統計係 または 各支所 地域振興課自治振興係

記録をめざして水しぶき

各地域で日ごろの練習の成果を発揮！

夏休みに入って間もない7月22日と23日、市内4地域ごとに、平成22年度日置市小学校水泳記録会が行われました。出場した児童らは、プールサイドで見守る友達や詰めかけた保護者らの声援を受けて、水しぶきを上げながら懸命に泳ぎました。また今年から小学校学習指導要領の改訂に伴い、すべての種目が水中からのスタートとなりました。

なお紙面の都合で各地域の個人種目の1位記録だけの掲載となっています。

市内小学校 水泳記録会

日置市小学校水泳記録会 記録（各地域 個人種目1位のみ）

種目	東市来地域	伊集院地域	日吉地域	吹上地域	
自由形	6年男子 100m	岡村 海青(湯) 1'44"3	柳田 瑛祐(北) 1'42"9	大西 洸太郎(新) 1'29"4	永池 海斗(伊) 1'26"8
	6年女子 100m	松比良まどか(湯) 1'45"1	徳留 零茄(伊) 1'24"5	馬場 陽菜(新) 1'51"7	
	6年男子 50m	岡村 海青(湯) 42"5	川路 裕貴(土) 38"8	平川 嵩士(新) 40"4	永池 海斗(伊) 38"9
	6年女子 50m	宮永 萌香(鶴) 34"3	徳留 零茄(伊) 37"5	草原 春紀(住) 41"8	山口 由夏(伊) 44"1
	5年女子 100m				
	5年男子 50m	宮永 梢汰(鶴) 37"1	宮下 環伍(北) 37"6	朝来野 竜太(新) 45"4	眞竹 俊輔(伊) 40"2
	5年女子 50m	宮前穂乃花(湯) 34"3	井上 枝穂(伊) 41"7	前畑 千聖(新) 49"1	富高 美紀(伊) 38"9
	6年男子 25m	池田 龍生(伊) 25"9		西留 航平(吉) 18"3	
	6年女子 25m	上薫衣呂羽(湯) 21"2		森永裕希乃(吉) 18"5	
	5年男子 25m	馬場 俊平(湯) 22"8	山口 賢助(妙) 19"1	野久尾 勇人(吉) 20"3	榊 慎之介(花) 20"8
	5年女子 25m	今田 朱音(鶴) 23"5	松木 万奈(妙) 19"8	神山 愛奈(置) 20"1	正留 愛(伊) 21"6
	4年男子 25m			岸之上 陽平(置) 20"4	川野 樹(伊) 20"8
	4年女子 25m			赤間優里奈(置) 20"2	寺本みやび(伊) 24"7
	平泳ぎ	6年男子 100m	奥園 泰雅(鶴) 1'57"0	橋口 優(伊) 1'58"3	下松 稔矢(置) 2'12"1
6年女子 100m		瀬戸口 萌果(鶴) 1'49"9	朝倉 優香(伊) 1'50"0	大西 瑞生(新) 2'17"6	有馬 由華(花) 1'59"4
6年男子 50m		奥園 泰雅(鶴) 51"2	鵜狩 慧久(伊) 51"7	赤鹿 敬尚(置) 57"0	今元 羅維(伊) 54"7
6年女子 50m		宮永 萌香(鶴) 46"7	井之上 菜々子(伊) 51"3	赤間 純奈(置) 56"0	森 美葉(和) 50"8
5年男子 50m		下池 倭太郎(湯) 51"8	宮下 環伍(北) 48"3	朝来野 竜太(新) 58"4	城ヶ崎 真也(伊) 47"2
5年女子 50m		帖佐 歩美(美) 1'02"0	梶 美空(北) 57"0	前畑 千聖(新) 1'05"8	宇都 さらり(伊) 54"7
6年男子 25m				小園 慧(吉) 29"0	
6年女子 25m		東市来地域 (鶴)⇒鶴丸小 (伊)⇒伊作田小 (湯)⇒湯田小 (上)⇒上市来小 (美)⇒美山小		追田 瞳(住) 36"3	
5年男子 25m			赤星 諒(妙) 28"2	野久尾 勇人(吉) 32"8	有馬 城(伊) 27"1
5年女子 25m			山下 歌穂(伊) 27"3	満富 絵里香(吉) 31"7	下園 美月生(和) 25"6
4年男子 25m			岸之上 陽平(置) 26"3		
4年女子 25m			赤間優里奈(置) 30"2	左近 充恵里香(伊) 28"6	
背泳ぎ	6年男子 50m	宮尾 峻雅(伊) 1'08"6	浦田 萌(伊) 55"4	大西 洸太郎(新) 48"3	久保園 夢輝(伊) 43"8
	6年女子 50m	瀬戸口 萌果(鶴) 49"8	梅園 佳奈(妙) 53"0	赤間 純奈(置) 47"8	宮下 真歩(伊) 53"5
	5年男子 50m	下池 倭太郎(湯) 40"6	柳田 将輝(北) 1'04"6		神余 陸人(伊) 1'03"5
	5年女子 50m	今井 遙(鶴) 58"0	里 萌々香(伊) 59"6		富高 美紀(伊) 44"3
	6年男子 25m			前花 竜馬(吉) 25"8	
	6年女子 25m		伊集院地域 (伊)⇒伊集院小 (飯)⇒飯牟礼小 (土)⇒土橋小 (北)⇒伊集院北小 (妙)⇒妙円寺小	森永裕希乃(吉) 24"5	
5年男子 25m			神山 愛奈(置) 29"0	宮本 早紀(伊) 29"0	
5年女子 25m					
6年男子 50m					
バタフライ	6年女子 50m	松比良まどか(湯) 50"5			吹上地域 (永)⇒永吉小 (伊)⇒伊作小 (花)⇒花田小 (和)⇒和田小
	5年男子 50m	宮永 梢汰(鶴) 40"6			
	5年女子 50m	宮前穂乃花(湯) 39"6			
6年男子 25m			西留 航平(吉) 22"4		
5年男子 25m			下原 康太(置) 32"5		
個人メドレー	6年男子 200m				
	6年女子 200m	宮永 萌香(鶴) 3'10"2		日吉地域 (置)⇒日置小 (住)⇒住吉小 (新)⇒日新小 (吉)⇒吉利小 (扇)⇒扇尾小	
	6年男子 100m				久保園 夢輝(伊) 1'40"6
	6年女子 100m				森 美葉(和) 1'53"1
	5年男子 200m	宮永 梢汰(鶴) 3'13"3			
	5年女子 200m	宮前穂乃花(湯) 2'54"9			
5年男子 100m				城ヶ崎 真也(伊) 1'38"5	
5年女子 100m				富高 美紀(伊) 1'37"4	



「花かごしま2011PRキャラバン隊」が来市

第28回全国都市緑化かごしまフェア

全国都市緑化かごしまフェアをPRする「花かごしま2011PRキャラバン隊」が六月二十四日、市役所を訪れフェアへの参加協力を呼び掛けました。同フェアは、九州新幹線鹿児島ルート全線開業にあわせ、来年三月十八日（金）から五月二十二日（日）まで県立吉野公

園と鹿児島ふれあいスポーツランドを中心に開かれる花と緑の博覧会です。

キャラバン隊員からは、宮路市長へ同フェア実行委員会会長の伊藤知事からのメッセージとPRグッズが手渡されました。

一方、伊集院地域内の若手経営者クラブ（永田俊広会長）が、昨年創立三十周年を迎えたことを記念し、同フェアの協賛会場となる伊集院総合運動公園に花壇を寄贈、七月十七日に完成式が行われました。

本市では、このほか江口蓬萊館（東市来）やチエスト館（伊集院）など六カ所が回遊拠点となり、緑化フェアを展開する予定です。



犯罪や非行のない社会を！

社会を明るくする運動

護司と更正保護女性会員が参加してキャンペーン活動が行われました。

同会会員らは、運動のシンボル「ひまわり」がデザインされたそろいのシャツを着用し吹上支所で出発式を行った後、バスで地域内を巡り運動への理解と協力を訴えました。

また日吉地域では六日、更生保護女性会の総会が行われました。

総会終了後、会員と保護司が日吉地域の小、中学校を訪問し、同運動の広報活動を行いました。



「第六十回社会を明るくする運動」の強調月間が七月一日からスタートしたのを受け、日置市保護司会の谷口正行会長ら四人が五日、市役所を訪れ、宮路市長に法務大臣のメッセージを伝達しました。

この運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

同運動期間中は「犯罪や非行をした人たちの就労支援」と「立ち直りを支える取り組みについての理解促進」を重点目標に、各地域でさまざまな取り組みが展開されました。吹上地域では一日、地域の保



水道用地をきれいに！

日置市管工事組合 ボランティア作業



日置市管工事組合（新山淳二会長）が七月十五日、市内四地域の水源・配水地の草払いや側溝の土砂除去などのボランティア作業を行いました。

同組合では毎年ボランティア作業や、水道工事技術向上の研究などを実施しています。

今回は二十四社、三十四人の組合員が水道施設を分担し、手慣れた作業に大粒の汗を流しました。

すっきりと見違えるようになり、きれいになった施設を前に、組合員からは「安心・安全でおいしい水を供給する施設はこうでなくては」と満足感あふれる声が聞かれました。

料理で学ぶ、お隣り韓国

韓国料理を通じて、もつと韓国文化に親しんでもらおうと六月二十日、国際交流事業「韓国味の旅」が東市来文化交流センターで行われました。

これは国際交流員の李潯京（リ・ジュンギョン）さんが企画したもので、六月から十月まで毎月一回行われます。

今回の「韓国味の旅」では、毎回料理にテーマを設定。「韓国の誕生日料理」と題した一回目は、わかめスープ、牛肉料理

のプルコギ、春雨料理のチャプチェの三品を作りました。

参加者のほとんどは女性ということもあり、手際よく調理を行いました。

「韓国料理という辛い料理のイメージがあるが、辛い料理もたくさんある」また「韓国の誕生日には必ずと言っていいほどわかめスープを食べる」と李さんの説明を聞きながらの試食会に、参加者は興味津々に耳を傾けていました。



韓国味の旅

今年の日玉は焼きたてパン！

美山薩摩焼振興会と神村学園高等部製菓衛生コースの生徒が

六月二十六日、薩摩焼の里美山で四百年記念登り窯を使ったパン作りに挑戦しました。

これは十月三十日から開催される美山窯元祭りの特別企画「登り窯パン工房」の試作第一弾として神村学園の協力を得て行われたものです。

神村学園製菓衛生コースの講師を務める城山観光ホテルの梅原崇昭さんの指示を仰ぎながら、生徒たちがパン生地づくりを、振興会

美山登り窯パン工房

会員は窯たきを担当。パン焼きに適した温度調整や、さすがににくい窯たき方法など試行錯誤を繰り返しながら作業は進められました。

約三十分かけて焼きあげた試作第一号は、こんがりきつね色で表面がパリッ、中はふんわりと見事な仕上がりをみせ、参加者全員から「美味しい！」と歓声が上がりました。

今後さらに試作を重ね、美山窯元祭りの薩摩焼体験者に提供する予定です。

鹿児島島の夏！ マナーが輝く 快適ロード

夏の交通事故防止運動

持った運転を心掛け、疲れや眠気を感じたときは、運転を控えましょう。

夏の交通事故防止キャンペーンが七月二十一日に市道寺脇直木線（伊集院町飯牟礼）で、二十六日には県道37号（日吉町日置）で行われました。

両日とも強い日差しが照りつける中、交通安全協会や日置警察署など関係者約三十人が、ドライバーにチラシや交通安全のマスコットを配り、交通事故防止を呼び掛けました。

県内では高齢者ドライバーによる交通事故が多くなっています。日ごろから常に緊張感を



海水浴シーズン到来！

江口浜海浜公園

夏の日差しがまぶしい七月二十一日、江口浜海浜公園海水浴場がオープンし、大勢の海水浴客が詰めかけました。

海開きを待ちわびた子どもたちは、元気いっぱい水を掛け合ったり、海に潜って大はしゃぎするなど、歓声を上げて楽しみました。

同公園海水浴場は、毎年多くの家族連れや若者らでにぎわっています。



大きく育ってね!

吹上漁港と江口漁港で稚魚放流



▲マダイの放流をする漁業関係者

また二十九日には、伊作田小(東市来)と扇尾小、日新小(共に日吉)の児童が江口漁港沖でヒラメの稚魚放流を行い、漁業や環境保全の大切さを学びました。

放流は、漁協と助鹿児島栽培漁業協会、小学校が一緒に行っているもので、この日は約二万七千匹の稚魚を放流しました。

児童たちは「大きく育って」と願いながら、海の中に泳いでいく稚魚を見送りました。

放流の後は、漁協で魚を守り増やす取り組みの紹介として、栽培漁業について勉強し、海や魚について知識を深めた一日となりました。

吹上漁業協同組合や県地域振興局、漁業関係者らが六月二十四日、吹上漁港でマダイの稚魚を放流しました。これは(助鹿児島県栽培漁業協同組合の「豊かな海づくりパイロット事業」の一環で毎年行われているものです。今年には約三万三千匹のマダイの稚魚が、吹上浜堤防から勢いよく放流され元気に東シナ海に旅立ちました。



▲大きく育ってと願いながらヒラメを放流する児童

スポーツで友情を深める

日吉地域子ども会スポーツ交流大会

日吉地域子ども会育成連絡会主催のスポーツ交流大会が七月二十五日、日吉運動公園で行われ、十五の子ども会三百四十人が参加しました。

太陽がじりじりと照りつける中、各校区対抗によるドッジボール、ソフトボール、キックベースボールの三種目で熱戦が繰り広げられました。

ドッジボールでは、各チームとも内外野の連携がとれた素晴らしいパス回しや敵の足元を狙った鋭い投球なども見られました。



ウミガメの住む海を汚さないで

伊作小かめさん祭り

伊作小学校(吹上)で七月一日「かめさん祭り」が行われました。この祭りは、吹上浜に上陸するウミガメを通して自然環境保護に対する心を養おうと、毎年実施されているものです。

祭りに向けて、学年ごとにウミガメの生態を学習し児童自らクイズを作るなど、さまざまな学習活動に取り組みました。祭りでは全校児童でウミガメ

クイズに挑戦し「吹上音頭」を踊った後、学年ごとにパレードへ出発。本町通りを練り歩きました。

児童らは、実物大のリアルなウミガメのみこしを先頭に「みんなの海を守ろう」「海にゴミを捨てないで」「ウミガメを守ろう」などと書かれたプラカードや横断幕を手に環境保護を訴えました。



子どもたちは大粒の汗を流しながら元氣いっぱい競技を楽しみ、お互いに親睦(しんぼく)を深めました。

元五輪選手がスポーツの魅力を伝える

スポーツ選手活用体力向上事業

元バスケットボール女子オリンピック選手の楠田香穂里さん



を講師に招いたスポーツ選手活用体力向上事業が六月二十日、上市来小学校（東市来）で行われました。

楠田さんは、ドリブルやシュートの手本を見せ「脇を締めることが大切」とアドバイス。子どもたちは、実演される一流のテクニックに「自分も同じようにできるようにになりたい」という気持ちを高め、真剣に練習に取り組み、元気いっぱいコートを走り回りました。

最後には、目標を持って練習



に取り組んだことでオリンピックに出場できたことや、バスケットボールを通して体験した友情の大切さなどエピソードを交えながら話し、スポーツの楽しさを伝えました。

人権への意識を高めよう

校内人権週間（日置小学校）



▲「ハンセン病問題」について発表する5年生

日置小学校（日吉）では、六月二十一日から二十六日を入権週間として、全校児童が標語やポスターなどの作品づくりや道徳の学習に取り組みました。

この週は「ハンセン病問題を正しく理解する週間」でもあり、人権集会では、5年生が「ハンセン病問題」について学習したことを全校児童の前で発表しました。

子どもたちはこの取り組み



▲3・4年生の人権標語作品

で、差別によって長い間たくさんの方がつらく悲しい思いをしてきたことを知り、人に対する思いやりの心を持って、みんなが助け合うことの大切さを再認識しました。

読書意欲のさらなる向上を

第2回日置市子ども読書活動推進大会

「日置市子ども読書活動推進大会」が六月二十六日、東市来文化交流センターで開催されました。

今年度で二回目となるこの大会は「市民総ぐるみの読書活動推進」を図るため、市内の読書グループや、PTAを中心に約五百人が集いました。

開会行事では、七月から地域図書館で開始される「日置市民推薦図書二百冊」の学校への贈呈式や、市読書活動推進計画の説明が行われました。

また鶴丸小図書委員会の活動発表や、平成二十一年度「市読書感想文コンクール」の特選作品の朗読など子どもたちによる発表がありました。

その後、市内で読書活動を行っている湯田小親子読書会、伊集院幼稚園みつばち文庫、日置小おはなしクローバー、こけけ読み聞かせたい、花田小おひさま読書会の五団体が、それぞれ日ごろ実践している活動を発表しました。

どの団体も工夫をこらした活動で寸劇や大型紙芝居、ブラックシアターなどを演じ、参加者から大きな拍手が送られました。



▲日置小おはなしクローバーの活動発表



▲日置市民推薦図書200冊の贈呈

後半は、NHKで現在放映されている「ざわざわ森のがんこちゃん」を執筆された児童文学作家の末吉暁子さんが「子どもの本は楽しい！」という演題で講演。読むことや書くことの大切さなどを参加者に伝えました。市教育委員会では、市民総ぐるみの読書活動推進を目指し、読書活動の充実を図っていきます。

バレエの魅力を感じ

青少年のための芸術鑑賞事業



青少年のための芸術鑑賞事業「バレエへの招待」が六月三十日、飯牟礼小学校（伊集院）で行われ児童や保護者、地域住民ら約百五十人が本物のバレエを楽しみました。

同事業は、優れた舞台芸術鑑賞の機会を通して、子どもたちの芸術を愛する心を育ててもらおうと行われているもの。

第一部では、バレリーナたちの練習風景が紹介され、基本動作や男女の動きについて説明が

ありました。

続いて「くるみ割り人形」より「金平糖のヴァリアシオン」を「ラシルフィード」より「森の景」などを上演。児童らはクラシックバレエの魅力を堪能しました。

バレリーナの表情や華やかな衣装、軽やかな動きを身近に見た児童らは「迫力があって、きれいだっただけでつま先だけで回ってすごい」などと話し、すっかり感激した様子でした。

本にもっと親しもう

鶴丸小全校読書集会

全校読書集会が七月八日、鶴丸小学校（東市来）で行われ、同校区内の東市来幼稚園児や鶴城寺保育園児も参加しました。

これは読書集会を通して、読書意欲を高めることにより、好きな子どもを育てることを目的に行われている鶴丸小独自の取り組みです。

当日は多読者表彰や学年発表、図書委員による指人形劇など充実した内容で行われました。

三年生と六年生の学年発表では、事前に覚えてきた本や百人一首を暗唱で披露。途中詰まりながらも見事に読み上げると、会場からたくさんの拍手が送られました。

最後に東市来図書館の「こけけ読み聞かせ隊」の紙芝居「ふしぎなうりどろぼう」も披露され、その独特の語り口は子どもたちを物語の世界に引き込みました。



家庭介護・看護の心得を伝授します

自分自身が安心して「老い」を迎えるために



▲お互いマッサージで癒されました

「自分自身が安心して『老い』を迎えるために」。介護する側もされる側も『笑顔』で暮らしてもらおうと、NPO法人「いちごいち笑」が主催した協働の講習会が七月十四日、中央公民館で開催されました。

講習会には市内から二十人が参加。介護保険課の保健師から介護保険制度について、保険料や認定審査会などの仕組みについて説明を受けました。

保健師は「介護に直面しなげ

ればわからないことが多いのが現実。気軽に相談してください」と促しました。質疑では、実体験に基づいた質問が数多く寄せられ、日々の介護に悩む家族の姿がうかがえました。

気分転換のために簡単なリラクセス体操も体験、お互い触れ合いながら和やかな表情を浮かべていました。

次回の講習会は「介護食」をテーマに、九月十六日に開かれる予定です。

女性の元気は地域の力

吹上地域婦人ふれあい運動会



吹上地域婦人ふれあい運動会が七月三日、吹上浜公園体育館で開催されました。

この運動会は、吹上地域の女性が一堂に会して連携を深め、お互いに理解しあうことで、よりよい地域づくりにつなげようと開催されているものです。

開会式では、長年にわたり婦人会長など多くの役職を務められた有馬澄子さんへ感謝状が贈られました。



競技には地域の女性団体に所属する会員約百五十人と、多数の来賓をはじめ市長も参加。趣向を凝らした競技を一喜一憂しながら楽しみ、会場は終日歓声と熱気に包まれました。

ゴールを狙って鮮やかにシュート!

チエスト小鶴ドーム杯フットサル大会

チエスト小鶴ドーム杯フットサル大会が六月十二日、同ドームで開催され、十五チーム（ビギナーの部九チーム、ミックスの部六チーム）が参加して熱戦を繰り広げました。

付け、全身汗まみれの選手たちに大きな声援を送っていました。結果は、次のとおりです。

(敬称略)

【ビギナーの部】

優勝 ファンテスカ

二位 足猿FC

三位 A・F・C

四位 AC GOD

【ミックスの部】

優勝 MKeins

二位 Delirio

三位 あづまX

四位 やまびこ医療福祉センター



シーズン前にゴミ一掃!

吹上浜クリーン作戦



日本三大砂丘の一つであり、日本の渚百選にも選ばれている吹上浜で、恒例となった「クリーン作戦」が七月十日に東市来地域で、十七日には日吉地域と吹上地域で行われました。

両日とも早朝からの作業にもかかわらず、一六八四人（東市来四七〇人、日吉地域七二九人、吹上地域四八五人）が参加、海岸に流れ着いた流木や空き缶、空き瓶、プラスチックなどを分別しながら清掃しました。

この作戦で集まったゴミは、三地域で可燃物一、八五〇キロ、不燃物一、四〇〇キロでした。

また吹上地域のクリーン作戦に合わせて、環境保護活動のための寄付金の贈呈式が行われました。



これは、MBCウミガメプロジェクトを応援する焼酎「海亀の里」を共同開発した原口酒造（株）と本坊商店が一升瓶一本につき三十円を環境保護のために寄付するものです。

この一年間で二千八百四十七本を販売。あわせて八万五千四百十円を日置市に寄付していただきました。

空飛ぶ苗に大歓声

空中田植え体験

日吉地域の川口地区で行われている「空中田植え」一苗の根っこの重さを利用して植え付ける

田植えを七月十四日、住吉小學校（日吉）五・六年生十二人が体験しました。



子どもたちは田んぼのあぜに並び、地元農家の皆さんに指導を受けながら「大きくなーれ」と声を上げ、しっかりと根を張るよう力を込めて苗を放り投げました。高く上がった苗は空中で広がり、田んぼへと植え付けられていきました。田植えを終えた子どもたちは、地域の皆さん



▲空高く苗を投げる子どもたち

が用意したスイカをほお張りながら「とても楽しくて、おもしろかった」と貴重な体験を喜んでいました。

おいしいお米になーれ

はまつ子農園田植え

農地や水などの資源の保全と、その質の向上を図る一環として、伊作田小學校（東市米）五年生六人が六月二十五日、地区内の田んぼで田植えを体験しました。地元農家の池田初男さんに、稲の植え方や田んぼでの足の運び方などの説明を聞き、早速稲を植えました。田んぼに入った子どもたちは、

冷たい土の感触に歓声を上げ、泥だらけになりながらも楽しんで苗の植付けを行いました。田植えが終わると「泥が冷たくて気持ち良かった。収穫が楽しみです」と子どもたち。秋には稲刈りや、脱穀の作業を行い、年末には収穫祭を実施する予定です。実りの秋が今から楽しみです。



おかげさまで来館者30万人達成

江口蓬萊館

江口蓬萊館（東市米）の来館者が六月十九日、三百万人に達しました。

平成十五年四月の開館から七年二月までの達成となりました。記念すべき三百万人目は、内野イツ子さん（東市米）。達成を祝うくす玉が割られ久木留江口漁協組合長から記念品が贈られました。



内野さんは「蓬萊館は目当ての品を探しやすく便利でよく利用する。このように賞品が当たったのは初めてなのでとても嬉しい」と話しました。

グリーン・ツーリズムの魅力を紹介

MBC「ふるさとがこしま」撮影

MBCのテレビ番組「ふるさとがこしま」のテレビ取材が六月二十三日、吹上地域で行われ七月十七日に放送がありました。撮影は「自然や文化を再発見！かごしまのグリーン・ツーリズム」と題して行われ、南薩地区でホームステイと農業体験を行っていた、大阪府立福泉高校の生徒と、その受入れ農家が取材を受けました。

受け入れ農家のインタビューがありました。生徒たちは予想外の取材に緊張しながらも、落ち着いた様子で答えていました。



当日はハウスの中で甘しょの苗床の片付けや、アスパラガスの収穫などの作業風景と生徒や

うたよみ

日置市文化協会

短歌・俳句・さつま狂句

(氏名敬称略)

短歌

しきなみ歌会(東市来)

高野山の杉の木立に朝日さす光の帯の地面に届く

末永 悦

娘より風邪をひいたと電話ありてみかんと餅の小包送る

高橋アツ子

冬物をクリーニングに出したるも寒の戻りにセーターを取り出す

西ノ園律子

伊集院短歌講座

白き羽毛ふわふわ揺るるイヤリング片方どこへ飛び立ちしやら

佐藤 康子

ほほずきも殻を破れば朱き羽根吾も壊せよ何処へ飛ばせ

永山 保江

日吉短歌会

足止めを解かれ羽田を発つ人ら苦痛忘る満面の笑み

宮園 良子

大量の降灰ありて紫陽花に朝夕かけぬ貴重な水を

谷川 サダ

梅雨入りの野菜は急に活気づき水やり一時お預けとなる

鳩野トミ子

冷水に浮かべて食べる素麺は暑き昼食のごちそうとなり

東 トキ

俳句

伊集院俳句会

朝まだき介護の空やほととぎす

久保野千代子

長雨や咲く十葉の白いちづ

小濱十四子

日吉俳句会

蓮の葉の雨を溜めてはこぼしをり

種田 隆一

鳩の踏む色なき風の爆心地

松村スミ子

一日終え汗の香に風煩とおり

横山 映子

湯上りの火照り鎮める星月夜

江田真知子

吹上砂丘俳句会

五月晴飛行機雲の外國へ

月野ミチ子

朝風を二つに裂きて船早し

田島 修峯

山吹の花のひっそり道ふさぐ

永田サツキ

さつま狂句

コケケ狂句会(東市来)

下戸じゃれば宴会なれば用事じよつこつ

津曲とつこ(幸雄)

人徳の通夜い涙も乾かせじ

有馬 風骨(昭典)

土橋狂句会(伊集院)

乾たフトン乾燥まもなか梅雨日和い

永山西之海(静彌)

のさんこつ背負た子供になかされつ

桃北 桃女(良子)

頼ん謝礼金足たい素抜たい熨斗袋しや疲れつ

永田 酒菜(久)

頼ん事下げた焼酎すい役き立たじ

東 五本松(昭己)

吹上さざなみ会

用事も無て萎びれ乳房ん重つかこつ

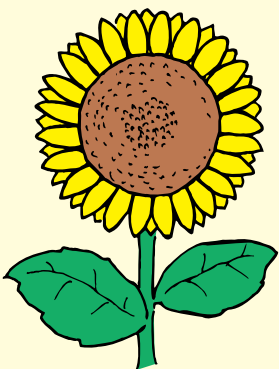
池上黒じよか(秀人)

腰す違つジムから帰や代行車

池上 歌子(良子)

ゲート前阿吽の呼吸でオンゴール

野元 尺八(隼人)





みんなでひろげよう! 「元気な市民づくり運動」

受けて安心「がん検診」! ~早期発見なら、がんはこわくない~



元気な市民づくり運動
イメージキャラクター
梅太郎

日置市では6月から各種がん検診が始まっています。皆さんは今年度がん検診を受けられたでしょうか? 「結果が怖いから受けたくない」「昨年受けたから今年は受けなくていいかな」と考えていませんか?

がんは、日本人の死亡原因の第1位になっており、一生のうちに2人に1人はがんになるともいわれています。しかしながら、本市のがん検診受診率は10%~20%と、国の目標値である50%受診率を大幅に下回っています。そこで今回は、がんを体験された方のお話をもとにがんについて考えてみたいと思います。

がんになってわかったこと(体験記)

最近子宮頸がんの手術を受けられた、市内にお住まいのAさん(42歳)にお話を伺いました。

問: がんと分かったきっかけは?

Aさん: 右腹部の痛みがあり、何となく気になっていたところ、友人から検診を受けたほうがよいと強い勧めがあり、病院で検診を受け、細胞診の結果子宮頸がんと判明しました。

問: がんと告知されたときの心境は?

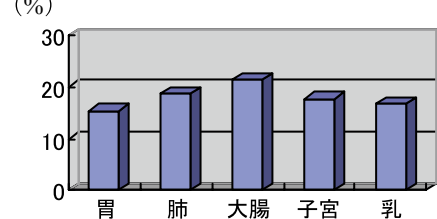
Aさん: 「うそでしょう!？」と思いました。「がん=死」と思っていたため、子どものことを考え、毎日泣いて暮らしていました。

問: 手術、入院生活について。

Aさん: 子宮を全部摘出しました。早期だったため抗がん剤治療はしませんでした。手術後に写真で摘出された子宮を見せてもらったとき、今まで自分のおなかの中であって、子どもを宿してくれて「ありがとう」という気持ちと、なくなった寂しさと複雑な気持ちでした。

入院中はいろいろな人の話を聞き、健康なときには、なかなか考えない人生、命について考える機会になりました。

日置市がん検診受診率(H21)



がん検診受診のめやすは?

乳がん…2年 子宮がん…2年
肺がん…1年 胃がん…1年
大腸がん…1年

(国立がんセンター推奨)

ガン細胞は1cmになるまでは十数年かけて大きくなっていきますが、1cmを超えると急速に大きくなるので、年1回は検診を受けることが大切です!



最後に…皆さんへのメッセージ

Aさん: 医師から「早期だったら必ず助かる。Aさんも2年遅かったら危なかったでしょう」と言われました。皆さんも症状のないうちに年1回の検診は受けてほしいです!



Aさんは、ちょっとした体の変化に気付いて検診を受けられたので、早期でがんを発見でき、そのため早く回復しました。早期がんの多くは無症状です。自分の体のために毎年1回は、検診を受けましょう。

健康づくり活動団体を教えてください!!

今後「健康情報ひおき」コーナーでは、地域で健康づくり活動を行っている団体などを紹介していきます。お気軽に情報をお寄せください!

お問い合わせ先: 本庁 健康保険課健康増進係 または 各支所 市民課健康保健係

大募集!





いけだ
池田 まき子さん〔52歳〕

伊集院町竹之山（竹之山自治会）

●アグリシステム茜 代表

これからも失敗を恐れず挑戦し続けたい

農業資材関係の会社で働いているご主人とイチゴ栽培を始めて十七年目、最初は十坪から始まり現在では五十坪を栽培しています。

「今思えば始めて五年ぐらいは農業に納得していなかったかも」と池田さん。ご主人が十二年前、福岡県に単身赴任になったことを機に「これからも頑張つて続けようと思った」と当時を振り返ります。

本格的に農作業をするようになって、あらためて農業の大変さ、難しさを実感しました。「イチゴは、天候に左右されるし、栽培には技術も必要。本当に厳しいなあと思った。半端な気持ちじゃできない仕事。だからこそ、やりがいも感じている」と笑顔で話します。

平成十年には畑の近くへ引越しました。「地域の方には、相談に乗ってもらったり、子どもの面倒を見てもらったりと、いつもお世話になっていきます。この場所でなかったら続いていたか」と話し、周りへの感謝を忘れません。

何事にも積極的に飛び込む性格。二年前はハウス一棟分の苗が病気で失敗したこともあり。それでも、失敗を恐れず挑戦することが大切と言います。今年の市イチゴ品評会では、三位に入賞しました。

農繁期になると、休みもあまりとれなくなります。取材をしたこのときは、イチゴの苗の親株からの切り離し作業の真っ最中でした。

「これからも食べた人が、おいしいと喜んでもらえるようなイチゴを作り続けたいです」



飯牟禮 **茉帆**ちゃん（1歳2カ月）

父 貴幸さん 母 真澄さん
（東市来町長里）

■おかあさんから

行動範囲も広がり、いろいろな事に興味を持っていただけずともパワーアップ中！三人のお姉ちゃんと優しいお兄ちゃんに囲まれて、すくすく成長してね。

わんぱく直送便



宇田 **毎香**ちゃん（5歳8カ月）
椿沙ちゃん（3歳7カ月）

父 裕史さん 母 歩さん
（吹上町中原）

■おかあさんから

優しくて恥ずかしがり屋の毎香ちゃん。元気いっぱい♪ノリノリな椿沙ちゃん。泣いたり笑ったり、いつまでも仲良しでいてね。

元気のある
お子さんの写真を
募集しています。

市内に在住の6歳以下のお子さん
①氏名②生年月日③保護者氏名④お子さんの近況⑤お子さんへのコメント
⑥広報へのご意見⑥連絡先を添えて、市役所総務企画課（住所は末ページ）までお送りください。



ギャラリー 私の作品展

『陶芸』

上 蘭 久子さん(67歳) 伊集院町郡

神奈川県横須賀市から移住してきて3年目。友達を作りたいと思い、以前から興味があった陶芸教室に通って2年目になります。「陶芸は、粘土の種類や釉薬の塗り方によってさまざまな色合いが微妙に醸し出され、出来上がるまでの期待感があります」と笑顔を見せます。「出来上がった作品はふぞろいでも、自分だけのオリジナルなので愛着がわきます」と上蘭さん。「完成した作品に料理を盛り、食卓を飾るのも楽しみの一つです」「作品はまだ少ないですが、これからも生涯の趣味として、作る楽しみや使う楽しみに喜びを感じながら続けていきたいです」



ウォッチまちの文化財 61

としひさ だいじょうじ
島津歳久と大乘寺跡 (戦国島津氏⑥)

島津歳久は1537年に伊作城(吹上地域中原地区)で生まれました。兄は島津本家当主となった義久・義弘でした。歳久は智略に優れた武将であったと伝えられています。

歳久は兄の義弘を補佐して蒲生や大口など各地で戦い、島津氏の悲願であった三州(薩摩・大隅・日向)統一を果たしました。その後、九州の大半を支配した島津氏でしたが、豊臣秀吉に敗れ、降伏しました。降伏に最も反対したのが歳久だったとされています。歳久は、降伏の後も秀吉に反抗を続けたと伝えられています。

1592年に島津氏の家臣梅北国兼が秀吉に対し反乱を起こしました。秀吉は歳久が反乱に関係があると疑い、処刑を命じました。歳久は領地の宮之城から呼び出され、竜ヶ水で討たれました。

1595年に歳久の遺族に日置(現在の日吉地域日置地区一帯)が領地として与えられ、孫の常久が領主になりました。常久は大乘寺に歳久の墓を建て、日置島津家の菩提寺にしたと伝えられています。

Access

本庁から車で25分、日吉支所から車で5分



歳久の墓



わたしの夢

上市来小学校

六年

松山 まつやま

紗也さん さや

わたしの将来の夢は小さいころから変わりません。それはじゅう医になることです。わたしの祖母の家では牛を飼っています。牛のおなかを大きくなり出産をむかえるのとわたしは祖母の家に行き、牛の出産に立ち会います。牛の赤ちゃんが生まれてくる瞬間を見るときも涙があふれます。命のたん生に感動します。牛が生まれてくるたびにいます。じゅう医さんは動物の気持ちが分かっている

わたしのことは、とても大きな夢です。じゅう医なるためには、どんな道を進んでいけばよいか考えています。まずは、今できる勉強をしっかりとがんばっていきたく思います。そして、小さいころからの夢をかなえて、たくさん動物の命を救ってあげたいと思います。



鹿児島県日置市

市の人口(住民基本台帳)

総人口	51,744人(△80)
男	24,252人(△40)
女	27,492人(△40)
世帯数	22,561(△17)

8月1日現在()は前月比

東市来地域	12,716人
伊集院地域	24,528人
日吉地域	5,468人
吹上地域	9,032人

市の面積 253.06km²

今月の表紙



「自然環境保護を訴えてパレード」

全校児童でプラカードや横断幕を手に、本町通りをパレード。ウミガメが産卵に帰って来なくなるような、きれいな吹上浜を守ろうと声をあげて訴えました。

「伊作小かめさん祭り」

P 10 関連記事

No.64 平成22年8月号

発行/日置市役所

総務企画部企画課

〒899-2592

日置市伊集院町郡一丁目100番地

TEL 099 (273) 2111

FAX 099 (273) 3063

東市来支所

TEL 099 (274) 2111

日吉支所

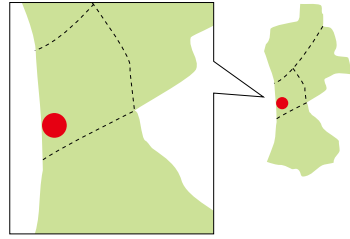
TEL 099 (292) 2111

吹上支所

TEL 099 (296) 2111

<http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

わが地域



帆之港自治会
(日吉地域)

平成十八年四月に帆之港・帆之港西・帆之港南・帆之港東が統合して、新たに発足した帆之港自治会。日吉地域の西側に位置し、平成二十二年八月一日現在で九十五世帯、百八十八人が暮らしています。

少子高齢化の進む地域ですが、海に沈む夕日がとても美しく、海岸まで歩いて約五分と自然に恵まれた地域です。



▲満尾利親会長

帆之港自治会(日吉地域) 老いも若きも全員参加で取り組む地域づくり

も参加してもらい、参加者の健康チェックを行っています。参加者からは「いきいきサロンに参加することで、生きがいが増えた」と大変喜ばれています。これまで育成会だけで行っていた六月燈は、昨年からは自治会全体で行うようにしました。灯笼(とうろう)を飾り、手作りのそうめん流しや、すいか割りなどみんなで楽しみます。



▲生きがい健康づくりのための「いきいきサロン」

また鬼火たきや、十五夜行事も昨年からは地域全体でにぎやかに行っています。これらの行事は、子どもから高齢者まで世代間交流を図るために、これからも続けていこうと思っています。



▲六月燈で世代間交流

帆之港は昔から海とともに栄えた地域です。今は途絶えている地引き網体験など地域を支えていた産業を掘り起こして活性化を図り、地域のよさを伝えていきたいと思っています。



▲和気あいあいと楽しむ運動会